

阪神淡路大震災の集い

阪神淡路大震災から22年が経とうとしています。山陽教区ではこれまで「阪神淡路大震災の集い」という形で、震災から私たちが何を問われているのかを被災者、支援者、またこれまで無関心であった人たちも含めて一緒に考えてきました。その中で私たちは、いつどこで起こるかもしれない自然災害の現実を生きていることを自覚し、同時に、実際に被災された方々や、その人たちに寄り添いともに生きようと願い続けてこられた方々から大切なことを教えられてきました。

今回の集いでは、阪神淡路大震災がきっかけとなって、被災者の方々に寄り添いながらボランティアコーディネーターとして各地の被災地のニーズにあった活動を考え実践されておられる浦野愛氏（RSY 常務理事）にお越しいたします。浦野氏からはこれまで体験された災害やボランティア活動の中でご自身は何を思い、何を願い生きてこられたのかを語っていただきたいと思います。

また、同じく阪神淡路大震災でご自身も被災されながら、多くの被災者の方々に寄り添い、ともに生きてこられた五百井正浩氏（神戸組玉龍寺）と対談していただき、寺院は災害に対して何ができるのか、何をすべきなのかを聞かせていただきたいと思います。

有縁のみなさま、お誘いあわせのうえぜひご参加ください。

期日：2017年1月19日（木）

場所：山陽教区神戸組専念寺（兵庫県神戸市兵庫区中道通2丁目1番20号）

講師：



浦野 愛 氏

1976年静岡県生まれ。阪神・淡路大震災では、同朋大学の学生が設立した支援サークル「同朋大学ボランティアネットワーク」に所属し、被災者支援にあたった。卒業後、特別養護老人ホームデイサービスセンターで寮母として勤務したのち、認定特定非営利活動法人「レスキューストックヤード（RSY）」の設立と同時に事務局スタッフとなり、2004年度より事務局長、2009年度より常務理事を務める。

災害時要援護者への支援事業を中心に、地域防災・災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。社会福祉士。

- 日程：
- 13：30 受付
 - 14：00 開会・勤行（正信偈同朋奉讃）・趣旨説明
 - 14：20 熊本地震支援活動・現状報告（山陽教区仏教青年会）
 - 14：35 浦野愛氏講演
 - 15：45 対談（浦野愛氏×五百井正浩氏）
 - 16：30 質疑応答
 - 17：00 閉会

※閉会后、懇親会を予定しています。懇親会に参加希望の方は、2017年1月10日までに山陽教務所までご連絡ください。

★会場までのアクセス★

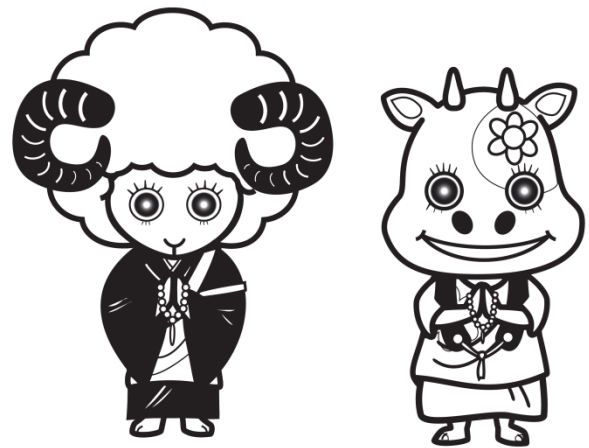
■姫路方面から

- 「JR 姫路」 駅⇒「JR 神戸」 駅下車⇒「神戸駅前」(阪急バス) ⇒ 「新開地」 下車、徒歩3分
- 「山陽姫路」 駅⇒「新開地」 下車[出口1 A]から徒歩3分



■広島方面から

- 「JR 広島」 駅⇒「新神戸」 下車・神戸市営地下鉄乗換(三宮 名谷 西神中央方面行き) 乗車⇒「湊川公園西」 出口2から徒歩4分



教区教化テーマ
ともに目覚め ともに歩もう
—出遇い続けたい人 そして言葉—

駐車場はありません。
公共交通機関のご利用をお願いします。

お問い合わせ
真宗大谷派(東本願寺)山陽教務所
TEL 079-292-3690
<http://www.sanyo-kyoku.jp/>